



第3時 【中間発表レポート作成】

1 ねらい

◎「調べて分かった事実」と「自分の考えや意見」をまとめて、中間発表レポートを書くことができる。

2 準備

- ①教師 ○学習シートNo.3 「中間発表レポートの書き方」(参考用)
○学習シートNo.4 「中間発表レポートシート」(記入用)
- ②生徒 ○学習シートNo.1 「学習計画・自己評価シート」(記入用)
○学習シートNo.2 「情報整理シート」(記入済み)

3 評価項目 (学習活動3 : 学習シートNo.4)

◎「調べて分かった事実」と「自分の考えや意見」を文章化して学習シートに書いている。

4 展開

学習活動	学習への支援	時間	担当	学習シート
1. 学習計画を確認し、本時のねらい、学習の流れを知る。 【学年：一斉学習】	○前時の学習を振り返りながら題材の学習計画を再確認した後、本時の学習課題を示すことにより、本時の学習に対して見通しをもって取り組めるようにする。	5	大竹	No.1
2. 中間発表レポートの書き方を知る。【学年：一斉学習】	○学習シートNo.3を用いながら書き方を説明し、全員が理解できるようにする。	5	↓	No.3
3. 学習シートNo.3を参考にしながら、学習シートNo.4に中間発表レポートを書く。 【学級：個別学習】 <レポートの項目> ① 研究テーマ ② 研究テーマ設定の理由 ③ 研究の方法 ④ 調べて分かった事実 ⑤ 自分の考えや意見 ⑥ 今後の課題 ⑦ 参考文献	○中間発表レポートの項目は共通して設定し、中間発表の際に自分のレポートを他者と比較して考えが深められるようにする。 ○文型や文末表現について項目ごとに例を挙げながら示し、具体的な書き方が理解できるようにする。 ○「④ 調べて分かった事実」と「⑤ 自分の考えや意見」については、それぞれ文末を例示し、文章化しやすいようにする。また、筋道立てて記述できるよう、全体的なことから部分的なことを書き、一つの段落には一つの情報を書くように指示する。 ○図やグラフなどを活用したい場合は、説明用資料として別紙に記入し、レポート本文と分けて考えられるようにする。 ○レポート作成が進んでいる生徒には、相手に分かりやすく伝えるようにするために、図や表に取り組むよう助言する。 ○レポート作成が進まない生徒には、具体的な文例を示しながら個別に支援する。	35	大竹 担任 副担	No.3 No.4
4. 本時の学習を振り返って評価し、次時への見通しをもつ。 【学級：個別学習】	○多様な視点で本時の学習を振り返り、以降の学習につなげるために、三つの項目(本時の目標に対する自己評価、他者から学んだこと、次時への課題と見通し)について学習シートNo.1に記入する。 ○次時は、友達のリポートを読んで自分の研究と比較しながら研究内容への助言を書くことを伝え、学習の見通しがもてるようにする。	5	↓	No.1